

---

# TG Grand Vision 150

(東北学院中長期計画)

及び

## 第 I 期中期計画

(2016～2020 年)

---

## B. 東北学院大学

東北学院大学は、TG Grand Vision 150 第 I 期（2016～2020 年）の基本目標＜新しい TG ブランドの構築＞の達成に向けて、体系的・一体的な 3 つのポリシー「ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）」、「カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）」、「アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）」を新たに策定し実行に移すことによって、高大接続教育の充実とともに大学教育の質的転換を図ることを最重要課題とする。さらに、本学は、新しい TG ブランドの柱となる「教育の質保証」、「学生の思いに応える支援」、「学生の満足度の向上」、「地域との連携と地域への貢献」、そして「社会的ニーズへのいち早い対応」を強く意識しながら、基本構想で示された 5 領域での基本施策を踏まえ、各領域において以下の施策方針をもって中期計画とする。

### 《教育・研究》

#### （1）建学の精神に基づくキリスト教教育の継続

東北学院の営みのすべてが建学の精神を基盤にしてなされなければならないことを絶えず構成員が確認する。このことを教職員と学生との間に浸透させる。学生のために礼拝とキリスト教学の授業を継続・充実させ、教職員はそのために常に配慮を怠らないものとする。

- ① 建学の精神やスクールモットーの周知、東北学院の教育理念への理解の深化
- ② 高大連携・高大接続教育の推進による中・高・大一貫キリスト教教育プログラムの充実
- ③ 『東北学院の歴史』を利用する自校教育科目の設置と授業への組み込み

#### （2）教育の質的転換

最新の教育改革の成果を取り入れ、教育の質を充実させる。多様な学生に対してきめ細かな教育を行い、専門的職業人を育てる。在学中に専門的資格を取得できる機会を拡大するため、資格の種類を増やし、そのためのカリキュラムを整える。

- ① 新しい「ディプロマ・ポリシー」及び「カリキュラム・ポリシー」の策定と実行
- ② 「就職に強い大学」としてのブランド強化のための教育プログラム開発
- ③ 課題解決型学習（PBL：Problem Based Learning）等、能動的学習（アクティブ・ラーニング）の積極的導入とその質的向上
- ④ ICT 教育、e-learning の推進

- ⑤ 成績評価方法としての GPA (Grade Point Average) の採用
- ⑥ 学修成果を多面的・客観的に測定するための方法 (ポートフォリオ、ルーブリック等) の開発・採用
- ⑦ TG ベーシックの推進と質的向上、全学的な共通カリキュラムの完成と検証
- ⑧ 東北学院大学における教育の中核としての教養教育・人格教育の強化・広報
- ⑨ ホーイ記念館に設置するラーニング・commons (学修支援施設) の運用・活用、担当部署の設置
- ⑩ 学生のために懇切丁寧な授業を追究
- ⑪ 学生による授業評価のより綿密な活用、表彰実施と改善計画の義務化
- ⑫ 教員の資質向上活動 (FD : Faculty Development) の実施継続、明確な目標により実施計画を設定・実行
- ⑬ 専門教育科目の見直し・カリキュラムのスリム化

### (3) グローバル化対応

グローバル化の全学的基本方針を踏まえ、長く交流のあるアメリカ合衆国の Ursinus, Franklin & Marshall 両大学との学生交換を続けるとともに、ヨーロッパ、そして中国・韓国・東南アジア諸国の大学との教育研究の提携・協力を進め、相互の人的派遣を促進する。

- ① グローバル人材養成のための教育プログラム整備
- ② 受入れ留学生増加 (受入れ留学生と協定校の増加、英語授業の増加、留学生寮整備)
- ③ 海外留学促進 (協定校の増加と目標値の設定、語学力習得支援、奨学金充実)
- ④ 国際交流に関する数値目標の策定

### (4) 教員の研究強化

教員の研究活動を活性化し、外部資金を大幅に増強し、その研究成果を目に見える形で社会に発信する。学生たちに最新研究の進行過程に触れさせ、その成果に関わる知的喜びを与える。

- ① 教員の研究実績の向上
- ② 業績による教員評価制度の構築
- ③ 大学院教育改革の推進
- ④ 科学研究費等の外部資金の獲得促進
- ⑤ 研究推進支援体制の整備 (研究推進課の設置等)

## 《社会貢献》

『地の塩、世の光』のスクールモットーの実践を目指し、大学で学び、身につけた知識と教養を生かして世界と日本の平和、幸い、豊かさのために働く人材を育てる。

- ① 文部科学省に採択された「地（知）の拠点整備事業」（COC：Center of Community）および「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業」（COC+）の事業による地域社会との連携及び貢献
- ② 講座類の充実継続
- ③ 『震災学』発行継続
- ④ 提携自治体・企業数を拡大（同窓会諸グループとの協力関係構築）
- ⑤ リエゾンアクションセンターの設置検討
- ⑥ 社会人再教育（大学院研究科、履修証明プログラム、コース制等模索）
- ⑦ ボランティアセンターの設置
- ⑧ 地域（近隣町内）住民との交流活発化～学生・留学生を交えた地域交流イベントのキャンパス内外での実施

## 《教育環境》

### （１）土樋キャンパス整備、キャンパス統合計画

土樋キャンパスに段階的に各学部全学年を集め、一貫教育を施す体制を整える。仙台の中心地に高度な学問の府としての都市型総合大学を実現する。

- ① ホーイ記念館完成後のキャンパス構想の推進、建設計画策定（法人と合同）、2・3・4・7号館の撤去、新棟建設
- ② 90周年記念館改築の検討
- ③ TGU モールの整備
- ④ 泉キャンパスからの移転計画策定・実行
- ⑤ 工学部施設の改修
- ⑥ 土樋周辺地の獲得・利用に関する法人と協議・検討（図書館・博物館・学院史資料館の将来構想）
- ⑦ 現施設のリニューアル（食堂、トイレ、教室諸設備、学生交流エリア）
- ⑧ バリアフリー施設整備の促進
- ⑨ 図書館の将来構想
- ⑩ セキュリティ体制の強化・充実

## (2) 学生支援

学生に快適な大学、ことに女子学生に心地よいキャンパスづくりを目指す。充実した授業、利用できる施設、憩えるスペースが豊富なキャンパスで、学生のキャンパス滞在時間を拡大する。

- ① 給付奨学金枠の拡大
- ② 学修意欲を引き出すための仕掛けの工夫（表彰、イベント等）
- ③ キャンパス滞在時間の拡大のための工夫
- ④ IT環境の整備
- ⑤ 課外活動の活性化・充実（ボランティア、サークル、イベント等）～スポーツ奨学金、表彰、応援制度、施設整備
- ⑥ オリエンテーションキャンプ、グループ主任による適切な指導
- ⑦ わかりやすい授業、成績評価の透明化と説明責任の明確化
- ⑧ 障がい者支援、2016年度「学生総合保健支援センター」設置
- ⑨ 学生の希望に応える就職支援の強化
- ⑩ キャリア形成支援の強化～インターンシップ（TG内インターンシップも含む）の促進、同窓会・企業人との提携強化
- ⑪ 学内外の人権侵害（ハラスメント、ブラックバイト等）からの学生の保護
- ⑫ 退学者を防ぐ対策促進、個別相談をしやすい環境作り
- ⑬ 快適なキャンパスづくり
- ⑭ 新しいタイプの学生寮の構想・設置

## 《組織運営》

### (1) 教学組織・運営の見直し

豊かな人格と教養を培い、社会に貢献し、激動の現代において問題を発見し、解決してゆける人材を育てる総合大学を実現するために、現代に即応できる新しい学部学科を設置する。

- ① 小学校教員養成課程設置
- ② 2018年度実施に向けた新学部・学科構想策定（専門職業人養成、資格授与の種類拡大）、学生定員と教員基準値の見直し
- ③ 大学院研究科の強化、改組を含む組織の見直し
- ④ 副学長の増員
- ⑤ 特任講師制度の拡充
- ⑥ 嘱託教授制度の見直し、非常勤講師の削減

- ⑦ 各部（学務・学生等）の位置づけ・決定権限の見直し、委員会の重複部分解消、連絡・情報共有の確実性・迅速性の改善
- ⑧ “不適合”教員対策の強化
- ⑨ 教員の新規採用制度の検討、柔軟な任期制による採用の検討
- ⑩ 職場環境の維持・改善（ハラスメント防止や禁煙等）

## （２）事務組織の見直し

学生サービスの向上・充実と効率的な組織づくりを目的として、組織の見直しと改編を行う。

- ① 学生サービスの向上・充実に向けた大学事務組織の見直し
- ② 職員の資質向上活動(SD：Staff Development)の強化（目標の設定、FDとの連動）
- ③ 学長室の機能充実
- ④ 情報収集・分析による政策提言(IR：Institutional Research)機能の強化とIR室の設置

## 《学生・生徒募集、広報》

### （１）入試改革・学生確保

本学の建学の精神に共感し、この大学で学ぼうという明確な意志を持つ学生を求める。「よく生きる」意識をもち、大学の学びによって自らの能力を育て、独立した社会人として生き抜く力を獲得しようとする学生を求める。自らの将来設計をすでに描いている学生、大学４年間、様々な経験をすることによって、将来の道を見出そうと思っている学生、いずれにも対応できる教育体制を用意する。

- ① 新しい高大接続の理念、大学入試制度改革への対応
- ② 新しい「アドミッション・ポリシー」の策定と実行
- ③ WEB出願の推進
- ④ 多様な学生確保、多様な入試方法の検討
- ⑤ 厳格な定員管理
- ⑥ 戦略的志願者確保手段の追求（入試課と他部署との情報共有、協働による戦略策定）

## (2) 広報戦略

本学の現況をリアルタイムにメディアを通じて発信する。大学に関わるイベント、学生の活動、教員の教育研究活動のニュースを常時プレスリリースする。魅力的な広報誌編集。現況に加えて、東北学院の未来図、近未来的イベントをこまめに発信してゆく。

- ① 学内情報の迅速かつ一元的な収集及び発信
- ② 大学に関する多角的広報の推進
- ③ メディアの革新に対応した新しい広報の開発